

令和7年度 学校評価について

宮城県加美農業高等学校 学校評価委員会

1 学校評価の実施

(1) 調査対象

対象	実施期間	人数	備考
1 教育職員	令和7年11月10日～21日	51人	教育職員のみ
2 全教職員	令和7年11月10日～21日	64人	非常勤を除く職員
3 生徒	令和7年11月7日～21日	114人	
4 保護者	令和7年11月7日～21日	114人	
5 外部学校関係者	令和7年11月10日～21日	16人	学校運営協議会・近隣区長等

(2) 回収状況

対象	令和6年度	令和7年度
1 教職員	82.4% (42/51)	56.9% (29/51)
2 教職員	86.2% (56/65)	78.1% (50/64)
3 生徒	80.6% (112/139)	88.6% (101/114)
4 保護者	80.6% (112/139)	63.2% (72/114)
5 外部学校関係者	62.5% (10/16)	93.7% (15/16)

(3) 調査方法

Webアンケート (Google フォーム) 及び質問紙法

2 調査結果

(1) 自己点検・自己評価 (教員・教職員) : 資料A (教育職員)、資料B (全教職員)

(2) 学校関係者評価 (生徒) : 資料C (生徒)

(3) 学校関係者評価 (保護者) : 資料D (保護者)

(4) 学校関係者評価 (外部学校関係者) : 資料E (外部学校関係者)

3 まとめ

調査方法はWebアンケート方式及び質問紙法により実施し、調査対象及び回収状況は上記のとおりである。

教育職員の結果は、回収率が芳しくなく、次年度に向けて時期や方法等を学校評価委員会で検討していき、回収率を上げる工夫が必要であると感じている。また、回収率が低いということは、その結果分析にも正確性を欠く可能性が高いので、今回は全教職員の部分で分析することとした。

全教職員の結果は、34項目中26項目で肯定的評価が80%を超えている。しかし昨年度から大きく肯定的評価ポイントを下げた項目があり、その項目について、各分掌・各学年で原因と対策について検討した。検討した項目は①施設や整備は安全で安心した学校生活を送れるように整備されているか (R6: 67.9%→R7: 48.0%)、②3教場の連携を密にし、相互に補完し合いながら教育効果が高められるようにしているか (R6: 83.3%→R7: 68.6%)、③研修会等で得た情報や学習した成果は職員全体に伝達しているか (R6: 94.5%→70.6%) の3項目である。施設整備に関しては、予算の問題もあり早急に改善できないものもあるが、優先順位を付けて対策を講じ、安心安全な学校生活を提供できるようにしていく。3教場の連携と研修会の伝達においては、打ち合わせの持ち方や、状況共有の場を適切に増やし、有効的にお互いのコミュニケーションと連携を図っていききたい。

生徒の結果は、23項目中19項目で肯定的評価が80%を超えている。しかし、「毎日の予習や復習」については、昨年度と同様に65.3%と最も低い結果となったことから、上記同様、各分掌・学年で対策を考えた。本校は寮生が多いので、寮での学習時間の工夫や、予習より復習に力を入れた課題の提示など、生徒が取り組みやすく、やる気を促すための改善策が提案された。次年度に向けて前向きに、よりきめ細やかな指導の徹底を図っていききたい。

保護者の結果は、22項目中20項目で肯定的評価が80%を超え、特に「生徒会活動が活発に行われている」と「発刊物によって学校の情報が適切に伝えられている」については100%となっており、本校の様々な教育活動に対して、高い評価を頂いた。その反面、施設整備やいじめの早期発見については、課題が残り改善を目指していく。

外部学校関係者の結果は、22項目中19項目で100%肯定的との非常に高い評価を頂いた。今後も積極的に地域連携を行うとともに、本校の特色や取組に関する情報発信の充実を図っていききたい。

自由記述では、老朽化した施設設備に対する改善要望や獣害対策に不安の声が多数あることから、適切な対応を講じていきたい。また、本校の特色や魅力をより分かりやすく伝えるために、次年度に向けて方策を検討・実施し、安心安全を前提としたよりよい学校作りに努めていきたいと考えている。